

廃棄物汚染処理市場と環境汚染賠償責任法 ゲーム理論的アプローチ

坂上 紳*

慶應義塾大学経済学研究科

2009年1月18日

概要

現状の廃棄物の不適正処理を踏まえ、本研究は、廃棄物汚染処理市場での逆選択やモラルハザードを防止するために環境汚染賠償責任法に注目し、自由な経済取引のもと社会的に望ましい廃棄物処理を実現させる有効な政策について考察した。そして、汚染排出企業である生産者と廃棄物処理業者の間の取引を割り当てゲームとして記述し、過失責任、無過失責任、拡大排出者責任、罰金制度によって根拠づけられた複数の責任法制度のもとでの社会厚生を比較を行った。その結果、拡大責任や罰金制度の有効性が示され、無過失責任と過失責任が機能する条件が提示された。

JEL Classification: C71, K32, Q53

キーワード: 法と経済学、廃棄物処理、逆選択、モラルハザード、割り当てゲーム

*E-mail:shins@gs.econ.keio.jp